

広報

# どうし

## 道志村民憲章

私たちの七里は、緑と清流と歴史の郷です。この地に生きることに誇りをもち、平和な村を築くため、ここに憲章を定めます。

私たちは

- 一、自然を愛し平和な村をつくりたい。
- 一、生産に励み豊かな村をつくりたい。
- 一、伝統を重んじ、教養を高め文化の村をつくりたい。
- 一、人情といたわりの心を養い、福祉の村をつくりたい。
- 一、明るく健康で、活力ある村をつくりたい。

2002 April 4月号

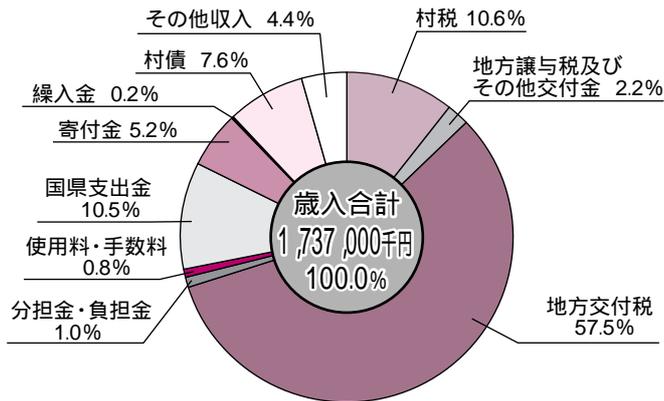


4月から道志小学校に入学する1年生（卒園式）

# 伴い厳しい予算

17億3,700万円〔一般会計対前年度比 12.3%減〕

12億9,465万円〔特別会計対前年度比 6.1%減〕

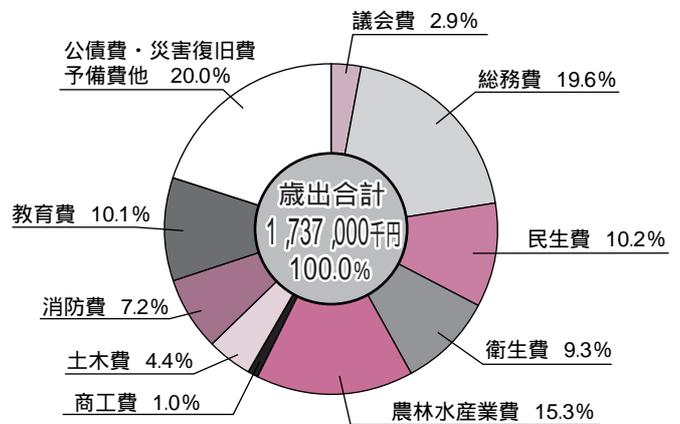


3月の定例議会において平成14年度の当初予算が審議され、一般会計1,737,000千円、8つの特別会計1,294,650千円、総額3,031,650千円が議決されました。

地方分権、地方の構造改革、市町村合併の波が小規模自治体に押し寄せて来ています。村の主要財源である地方交付税の本格的減少に伴って、村財源はますます厳しい極面を迎えています。

村では事務事業の見直し、旅費、交際費、需要費などの経常経費の大幅な削減に積極的に取り組んでいきます。

今年度からスタートする各種事業の推進と住民生活に直結する事業の確保には努めてまいります。



項目	金額
1. 村税	184,000
2. 地方譲与税	12,000
3. 利子割交付金	2,000
4. 地方消費税交付金	14,000
5. 特別地方消費譲与税	0
6. 自動車取得税交付金	6,000
7. 地方特例交付金	5,000
8. 地方交付税	998,662
9. 交通安全対策特別交付金	0
10. 分担金及び負担金	18,224
11. 使用料及び手数料	14,552
12. 国庫支出金	26,559
13. 県支出金	156,300
14. 財産収入	1,757
15. 寄付金	90,000
16. 繰入金	3,419
17. 繰越金	50,000
18. 諸収入	21,927
19. 村債	132,600
歳入合計	1,737,000

項目	金額
1. 議会費	50,072
2. 総務費	341,046
3. 民生費	177,437
4. 衛生費	160,756
6. 農林水産業費	265,194
7. 商工費	17,133
8. 土木費	76,356
9. 消防費	125,168
10. 教育費	175,984
11. 災害復旧費	13
12. 公債費	341,084
13. 諸支出金	1,757
14. 予備費	5,000
歳出合計	1,737,000

## 特別会計 当初予算総額 12億9,465万円(対前年度比6.1%減)

国民健康保険 206,218千円	国民健康保険 診療所 111,014千円	老人医療費事業 276,882千円	簡易水道事業 23,103千円	観光施設事業 422,000千円	介護保険事業 94,799千円	介護保険 サービス事業 30,342千円	合併処理 浄化槽事業 130,292千円
---------------------	----------------------------	----------------------	--------------------	---------------------	--------------------	----------------------------	----------------------------

平成14年度  
当初予算概要

# 地方交付税の大幅な減少に 一般会計予算は 特別会計は

## 平成14年度 主な新規事業

地籍調査事業 15,373千円  
事業年度 平成14年度～24年度  
今年度調査面積 長又～白井平地区  
20ヘクタール  
法定外公共物譲与事業 7,490千円  
事業年度 平成14年度～16年度  
今年度調査 月夜野～大室指地区  
消防施設整備事業 35,103千円  
高規格救急自動車購入 4WD 3400cc  
観察用資機材一式  
呼吸・循環管理用資機材一式

農業振興事業 11,871千円  
(1) 特定農山村地域市町村活動支援事業  
事業年度 平成14年度～18年度  
特産品開発研究・販売体制整備  
(2) 遊休農地解消総合対策事業  
緊急雇用対策事業 6,000千円  
山梨県緊急地域雇用創出特別基金を活用  
林道、登山道の整備など  
村指定文化財事業 300千円  
村指定文化財15件の冊子作成  
老人福祉計画及び介護保険事業計画策定 1,330千円

## 教育・文化の振興

豊かな人間形成をつくるため、日常生活に心のゆとりが持てる教育、文化の推進を図ります。

(おもな仕事)

教育振興事業  
各学校の管理及び振興事業  
J E T (英語教育) 振興事業  
社会教育振興事業  
社会体育助成事業  
スポーツ振興事業  
高校就学助成事業  
文化財保護事業

## 産業の振興

緑豊かな自然環境との調和を図り、産業の活性化と基盤整備を推進いたします。

(おもな仕事)

農林道整備事業  
民有林林道整備事業  
農道整備事業  
小規模治山事業  
農林水産業施設整備事業  
新山村振興事業  
地積調査事業  
農林業振興事業  
特定農山村地域市町村活動支援事業  
農業振興整備計画管理事業  
地域農政整備推進事業  
中山間地域直接支払制度事業  
体験農園運営 事業  
商工観光振興事業  
観光施設運営費  
商工業組織育成事業

## 福祉と医療

地域住民が明るく健康で生活できるよう福祉の充実と保健医療を推進します。

(おもな仕事)

福祉関係事業  
老人福祉・社会福祉事業  
食事サービス事業  
身体障害者福祉事業  
重度医療助成事業  
児童福祉、母子、父子福祉事業  
保育所運営事業  
介護保険事業  
介護保険サービス事業  
保険衛生関係事業  
予防接種委託事業  
母子保健事業  
乳幼児医療費事業  
乳児～3才児健診事業  
村民の健康管理、健診事業  
健康保険事業  
国民健康保険事業  
国民健康保険診療所事業  
老人医療費事業

## 生活環境の整備と、ふるさとづくり

地域住民の生活の快適性、利便性の向上安全確保のためと、ふるさとづくり事業の推進をします。

(おもな仕事)

村道整備事業  
消防施設整備事業  
常備消防委託費  
非常備消防費  
消防施設費  
(高規格救急車1台)  
ふるさとづくり事業  
国際交流  
花いっぱい事業  
街路灯事業  
地域おこし事業

環境保全事業  
簡易水道事業  
村内清掃、消毒事業  
ゴミ収集処理事業  
道志村川生態系調査  
ペットボトルストックヤード事業  
合併処理浄化槽事業



# 明日の道志村を考える

## 地域懇談会・住民意向調査の結果



道志村では、地方分権、行財政改革の時代を迎え、長期総合計画の指針づくり、中山間地域総合整備事業導入にあたり、村の将来を長期的、総合的に見据えた「個性ある地域づくり」を実現するため、地域住民をはじめ、多様な主体の参画や合意形成により各種施策や計画づくりを立案するため、昨年12月に地域懇談会と住民意向調査を実施いたしました。

今後は、この結果を踏まえ議会、事業推進協議会と協議を進めると共に、第2回目の地域懇談会を計画しております。

また、地域懇談会、住民意向調査の結果がまとまりましたので、次のとおり公表いたします。

### 『明日の道志村を考える』地域懇談会の結果について

地域懇談会は、善之木地区、神地地区、川原畑地区、長幡西地区、長幡東地区、久保地区の村内6ヶ所で開催いたしました。

#### 善之木地区

1. 国道以外の下流域へのバイパス的道路の整備
2. 道坂～五輪への村道開設
3. 村営住宅の増設
4. 小学校統合跡地の利用問題
5. 林道等の不法投棄問題についてバリケード設置提案
6. 市町村合併問題
7. 現状の農道白井平線について、改良要望
8. 拡幅改良したバス停の設置要望

#### 神地地区

1. 現状の都留～道志線の冬季期間交通問題
2. お宮を通過する農道整備要望
3. 近隣市町村への峠越えのないトンネル要望
4. 小学校統合跡地の利用問題
5. 簡易水道の水源及び本管伏せ替えについて改修要望
6. 村営住宅の増設
7. 国道以外の下流域へのバイパス的道路の整備
8. 道の駅について信号機の設置又は駐車場の増設要望
9. 市町村合併問題
10. 医科、歯科医師の臨時休業時の代替医師要請
11. 村民グラウンドの水はけについて整備要望
12. 防災行政無線難聴個所の改善要望
13. 定期的な地域懇談会の実施要望

#### 川原畑地区

1. 作業道越路線の林道編入要望
2. 各所水路の水門設置要望

3. 林道池之原～谷相線の改良要望
4. コミュニティセンター的施設の整備要望
5. 村営住宅の増設
6. 河川への取入れ道又は段階的護岸整備要請
7. 近隣市町村への峠越えのないトンネル要望
8. 遊休農地や森林を活用した公園の整備提案
9. 養豚場の改善要望

#### 西和出村～竹之本地区

1. 農道向原線の延長又は戸渡への接続要望
2. 村道池之原～谷相線の改良要望
3. 林道竹之本線の整備及び改良要望
4. 生ゴミの肥料化と不法投棄防止強化提案
5. 竹之本地区の水道施設改修要望
6. 福祉ベッドの増設要望
7. 老人の保養所的施設の要望
8. 河川付近に公園的施設の要望
9. 登山道の施設や標識等の整備
10. 国道沿いの植栽や標識の統一化提案
11. 村内の山などに名所設置の提案
12. 屋根付きのバスステーションの設置要望

#### 馬場～椿地区

1. 大栗地区内村道の国道出口付近の改良要望
2. 小善地区の墓地進入路要望
3. 農道大栗向線の舗装要望
4. 田代地内田代橋の新設要望
5. 椿地内村道舗装改修要望

6. 国道以外の下流域へのバイパス的道路の整備
7. 和出村地区池之原橋の2車線化
8. 診療所等の福祉施設の充実要望
9. 小学校統合跡地の利用問題
10. 遊休農地や森林を都市住民への開放策による活性化提案
11. 作物の被害対策の要望

#### 大室指～月夜野地区

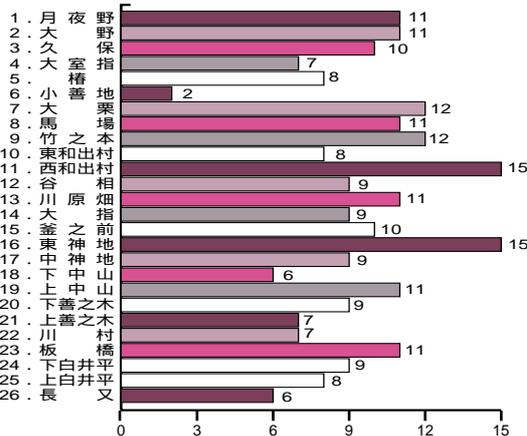
1. 野原地内河川への道路整備要望
2. バイパス的道路の開設要望
3. 作業道椿～大室指線の改良舗装要望
4. 村道笹久根線の延長要望
5. 農道大室指線の延長要望
6. 遊休農地等を活用した体験農園の整備提案
7. 月夜野～秋山村へのトンネル要望
8. 近隣市町村への時間短縮のためのトンネル要望
9. 月夜野地区に林道開設要望
10. 生活道としての遊歩道的な道路整備要望
11. 小学校統合跡地の利用問題
12. 公民館の改修要望
13. 集中的投資提案
14. 七滝に遊歩道の整備要望
15. 文化財への指定要望
16. 高校生の部活支援バスの要望
17. 青少年非行防止対策の要望
18. 市町村合併問題

### 住民意向調査の結果

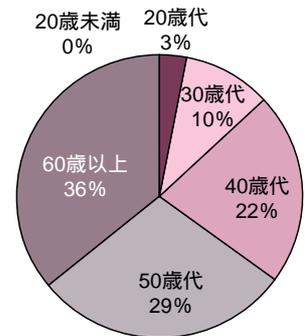
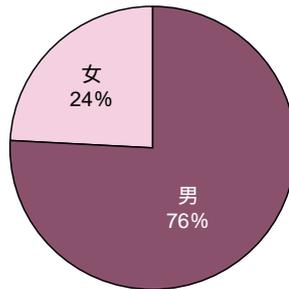
住民意向調査は、配布数497、回答252回答率50.7%でした。  
なお、意向調査については内容が多数のため要点を公表いたします。

## あなたご自身の事について

問1. 地区名

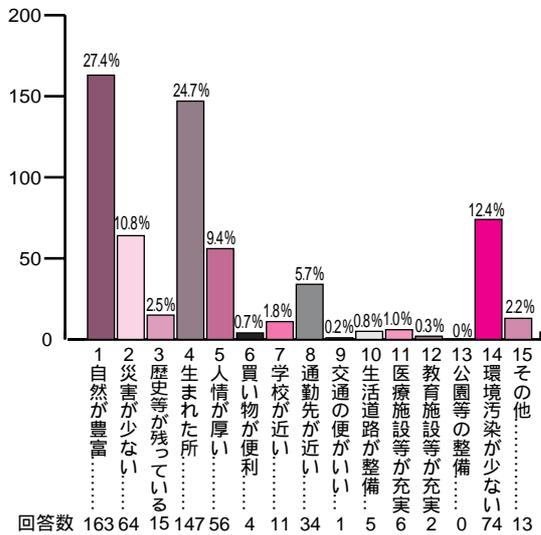


問2. 性別, 年齢



# ■ あなたがお住まいの地区の生活環境について ■

問3. あなたがお住まいの地区について、特に住みやすいと感じられる点は何ですか。(主なもの3つ)

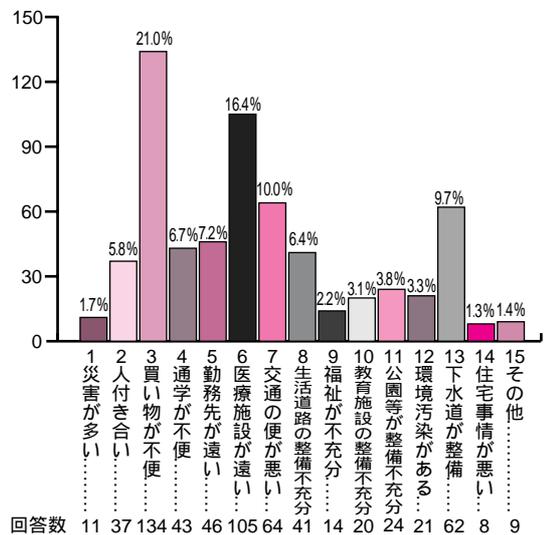


**考察**

道志村において、住みやすいと感じられる点については、「自然が豊か」が27.4%と最も多く、次に「生まれた所だから」が24.7%で、続いて「環境汚染が少ない」が12.4%、「災害が少ない」が10.8%、「人情が厚い」が9.4%という結果となった。

豊かな自然や人々の温かさに住みやすさを感じている村民が多いことが分る。

問4. あなたがお住まいの地区について、特に住みにくいと感じられる点は何ですか。(主なもの3つ)

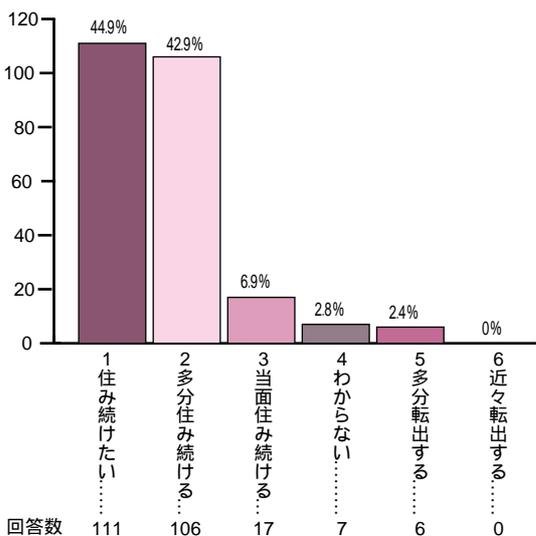


**考察**

道志村において、住みにくいと感じている点では、「買い物不便」が21.0%、次に「医療施設が遠い」16.4%と多く、つづいて「公共交通機関の便が悪い」が10%、「下水道が整備されていない」が9.7%、「勤務先が遠い」が6.7%、「通学が不便」が6.7%となっている。

豊かな自然と住みやすさと感じている反面、生活面での不便さを感じている結果となっている。

問5. 今後とも道志むらに住み続けたいとお考えですか。

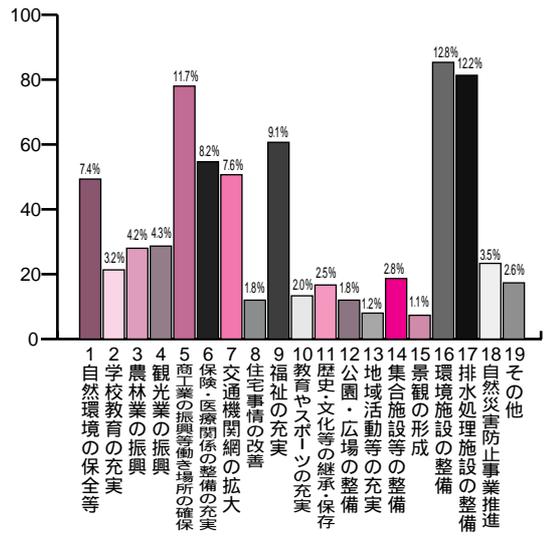


**考察**

村民の居住意向であるが、「住み続けたい」が最も多く44.9%、「多分住み続ける」が42.9%となっている。「当面住み続ける」が6.9%に止まり、他は少数意見となっている。

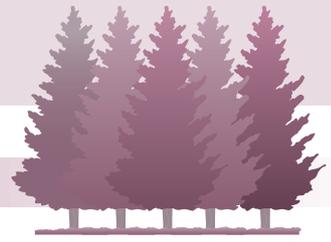
村民の永住希望が強いことがうかがえる。

問6. あなたのお住まいの地区について、今後取り組む必要性のあるものは何ですか。(主なもの3つ)

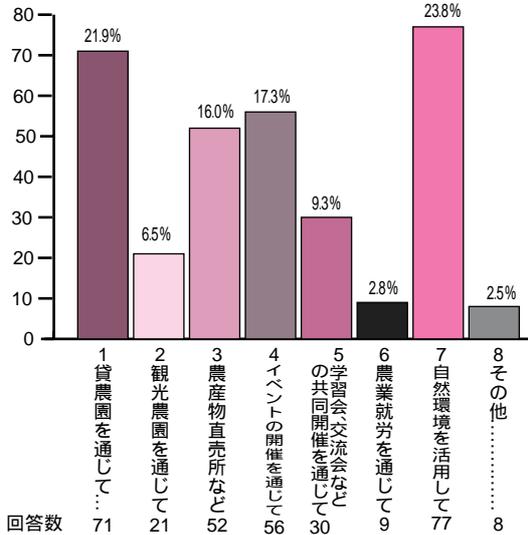


**考察**

今後取り組む必要性のあるものとしては、「ゴミ処理等の環境施設の整備」が12.8%、「下水道等の排水処理施設の整備」が12.2%、「商工業の振興と働き場の確保」が11.7%と横並びで多く、続いて「高齢者対策等の福祉の充実」9.1%、「保健・医療関連の設備充実」が8.2%、「自然災害防止事業推進」が7.4%となっている。



問11. 都市住民との交流の方法として、どのような方法が望ましいと思いますか。(望ましいと思うもの全てに)

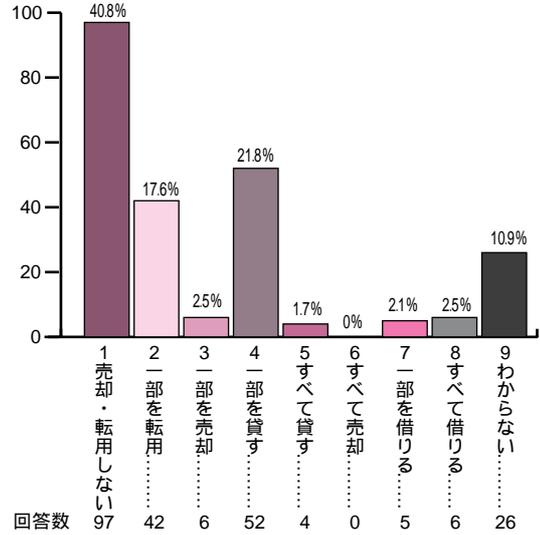


考察

都市住民との交流方法としては、「自然環境を活用した交流」が23.8%、「体験農園などの貸農園を通じた交流」が21.9%と横並びで多く、次に「各種イベントの開催を通じた交流」が17.3%、「農産物直売所などで、地場産の野菜などを来村する消費者に直売する」が16.0%となっている。

道志村では自然や農業を通じた交流が主で、山中湖ほど観光にむすびつけた交流方法を望んでいないようだ。

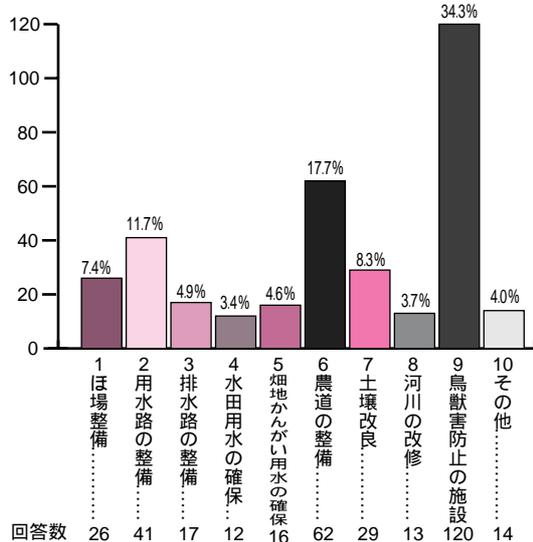
問12. 現在所有している農地は、今後どのように使いたいとお考えですか。



考察

現在所有の農地については、「売ったり転用するつもりはない」40.8%、「一部貸す」が21.8%「一部転用」が17.0%となっている。このことから、売却の意志のない村民が8割弱いる結果となった。「わからない」とする村民が10.9%となっており、他は少数意見となっている。

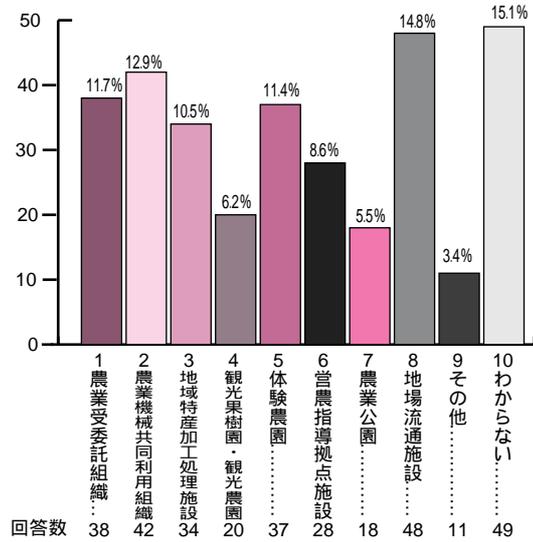
問13. 道志村において農業を行っていく上で、農業基盤整備として何が必要ですか。(3つ以内)



考察

道志村において農業を行っていく上で、農業基盤整備として必要なものとしては、「鳥獣害防止施設」が最も多く34.3%、次に「農道(単独)の整備」が17.7%、「用水路(単独)の整備」が11.7%となっており、問24での困っていることと照らし合わせても当然の結果といえる。

問14. 道志村の農業の振興を図っていく上で、施設や組織として何が必要ですか。(3つ以内)



考察

道志村の農業の幅広い振興を図っていく上で必要な施設や組織としては、「農産物直販施設等、地場流通施設」が14.8%、「農業機械共同利用組織(機械銀行)」が12.9%、「地域全体にわたる農業受委託組織」が11.7%、「体験農園」が11.4%となっている。他意見も18人を超える回答者があり、全体的に回答が分散した結果となっている。

また「わからない」と回答する者が15.1%いる。